



蜜蜂を取り巻く情勢


腐蛆(そ)病の発生について

- 
- 全国的に腐蛆（そ）病は毎年発生しています。
(R4:106群、R5:56群、R6:16群、R7:31群)
 - バロア病、チョーク病、アカリダニ症などの監視伝染病も全国で発生しており注意が必要です。
 - 京都府では家畜伝染病予防法に基づき年1回の腐蛆病検査を実施しておりますのでご協力をお願いします。

蜜蜂用医薬品の適正使用について

- 
- 今年は春先から気温の変化が激しいこともあり、花の蜜量が減り群勢維持が困難な状況です。
 - 加えて、薬の乱用等により全国的に殺ダニ剤の効果が悪くなっていることから、蜜蜂用医薬品の使い方、使用量、使用禁止期間（休薬期間）など、適正使用の再確認をお願いします。

丹後管内でバロア病確認

- 
- バロア病とは、ミツバチヘキイタダニの寄生による病気。届出伝染病。
 - ダニの吸血によりミツバチ（成虫、幼虫、蛆）が弱体化し、発育に影響。養蜂業へ深刻な被害をもたらす病気です。
 - ダニは巣箱を介して移動するため、日ごろか蜂群の観察と衛生管理に努めるとともに、異常を認めた際は、当所にご相談ください。

ミツバチヘキイタダニの雌
(引用:養蜂技術指導手引書)